

## スズメ（スズメ科） 全長 14センチ

遅ればせながら、今年初めての投稿となりました。

年末からず〜っと大雪、豪雪、風雪等が途切れなく続いたことから、休む間もなく雪寄せに明け暮れていたが、やっとパソコンに向かう余裕の時間が出来ました。

朝早く起き、玄関前の除雪に取り掛かると、スズメが電線や庭木の上で待ち構えています。降り積もった雪山を、スノーダンプで格闘すること約 1 時間。除雪を終えてから、スズメのお食事時間です。餌台にくず米を与えると、この時を待ち構えていた 4〜5 羽が直ぐに食べに来るのかと思ったら、反対側に飛び去ってしまいました。



軒先でじっと待つ。

そして数分後、なんと 20〜30 羽の集団を引き連れて現れたのです。時には 100 羽を超える団体がやってくる時もあります。こういう光景が毎日のように繰り返されてきました。

最初に現れた数羽のスズメは先発隊で、餌を確認してから仲間知らせに行ったのでしょうか。どのような手段・方法で仲間に伝えたのだろうか。鳴き声でしょうか、それとも羽を震わせるなどして行動で伝えているのでしょうか。分からないことだらけです。



狭い餌台は込み合っているのに、並んで待っています。



落ちた餌も、みんなで残さず食べましょう。

それから、仲間はどこから来たのだろうか。

数十羽くらいだと、<sup>なぐら</sup> 塀となる垣根や庭木の繁みがある近所の冬囲いからやって来た可能性が考えられます。100羽を超える集団だと更に離れた塀まで移動し、餌の在処を伝えに行ったのではないだろうか。

小さなスズメですが、決して餌を独り占めすることなく仲間同士助け合いながら逞しく生き延びています。



勇気あるものが最初に覗きこむ。



大丈夫と分かり集まって来た。